

## つきたい力

- ・学ぶことの楽しさを感じ、主体的に学びに向かう力
- ・文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけ、記述する力

## 取組みの概要・ポイント

- A 単元のゴールを設定し、逆向き設計で指導計画を作成する。
- B 文章と図表とを結び付けて考え、表現させる教科横断的な学習を行う。

## 具体的な取組みの内容 言語活動を大切に授業づくり

### A逆向き設計の授業づくり ～授業の組み立て方～

①単元で「つきたい力」を確認し、単元目標の設定

②子どもの姿をイメージしたゴールの設定

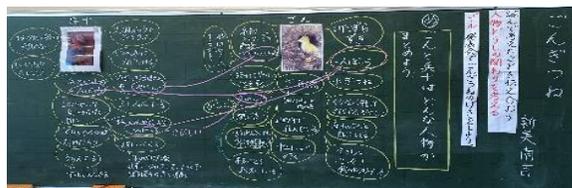
③一単位時間ごとにゴールのどの部分を学習するのかを  
意識した指導計画作成

目標のどの言語事項を  
扱うかを明確に

④一単位時間の目標達成するための支援方法の検討

⑤評価規準・評価方法の設定

⑥「つきたい力」・自己肯定感が高められたかの確認

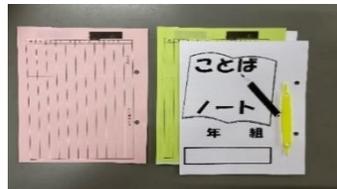


### ポイント

ゴール設定は、つきたい力を身に付けるためにふさわしい言語活動を設定します。教員が指定する場合と子どもとともに決めていく場合があります。

### ポイント

言葉を使って主体的に学ぶことができるように、6年生まで使える「ことばノート」に、辞書で調べた言葉をためていきます。



各学年の単元の  
ゴール一覧は  
こちら



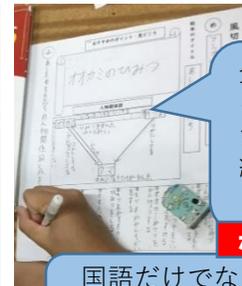
### B情報活用能力育成をめざした授業づくり ～文章と図表を結び付けて必要な情報を見つける～

### ポイント

登場人物同士の関係を人物関係図に表したり、心情を心情曲線を使ったりしてまとめました。

### ポイント

国語だけでなく、理科でも自分の考えをまとめるツールとして図を使ってまとめることをしています。



図や表で読み取れることを書くだけでなく、写真やグラフを見て、合う語や文を選んだり比較したりする活動は、タブレットを用いた学習が効果的です。



## 取組みを通しての子どもの変容

- ゴールを設定し、それに向かって1単位時間ごとの目標を意識して授業を展開したことにより、「国語の授業が好き」の項目が上がった。
- どの教科でも図表をもとに考え、自分の考えを表現することを通して、「図表を使って伝える」の項目に伸びがあった。
- 「授業中、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている」の項目の結果が7月に落ち込んだ。そこで、9月に「話す・聞く」単元を丁寧に取り組み、以下の成果があり、ポイントも上昇した。  
低学年…伝えたことに対して質問をもらえることの喜びと対話の楽しさを知ることができた。  
中学年…役割を考えて話し合うことで、司会をすることの難しさや、意見に反応することの大切さに気付き、話す時に言葉を選んで丁寧語を使う姿が見られた。  
高学年…自分と違った意見も一度受け止め、相手の立場や思いを考えて歩み寄る言い方ができるようになった。

	4月	7月	12月
国語の授業が好き	68%	82%	85%
図表を使って伝えることができる	65%	74%	74%
話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりしている	82%	80%	86%